

# 滋賀県平和祈念館 年報

第5号

(平成28年度)

はじめに

滋賀県平和祈念館は、平成 24 年 3 月、「語りつぐ 平和へのねがい」を指針として、県民のみなさまの大きな期待と希望をになって開館しました。

開館の初年目にあたる平成 24 年度の活動（23 年度分を含む）については、『滋賀県平和祈念館 年報』第 1 号を平成 25 年 12 月に刊行し、以後、各年度の活動については、それぞれ『年報』第 2 号、第 3 号、第 4 号にまとめ、報告したところです。本号では、ひきつづき平成 28 年度の活動をまとめています。

本館では、「モノと記憶の継承」、「自らできることのきっかけづくり」、「県民参加型の運営」という三つの基本方針のもとで、県民の戦争体験を継承する事業として、展示事業をはじめ、資料収集保存、普及啓発、平和学習支援、ボランティア活動支援などの諸事業を展開しています。

平成 28 年度の展示事業としては、第 13 回企画展示『戦時下の滋賀師範一昭和 18 年の卒業生一』について、第 14 回『日本陸軍と軍装』、第 15 回『少女たちが綴った「学級日誌」一戦時中の瀬田国民学校五年智組一』、そして第 16 回企画展示『八日市いまむかし一飛行場があった街一』が実施されました。またこれらに関連して、特別企画展示『八日市の街並み（旧八日市飛行場）』や地域交流展示『ミニ原爆の凶展』や『滋賀の戦争の跡パネル展』などを行いました。そして戦争体験聞き取り調査や収集資料の整理を引きつづき精力的に続け、一部は DVD 上映も行っています。

平成 28 年度の普及啓発事業では、昨年から通年開催となった平和の学校あかり・ピーススクール、そして平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクールの充実が目立ちました。一般向けの平和学習講座では、夏季に田島奈都子氏（青梅市立美術館）の講演「プロパガンダポスターに見る日本の戦争」、秋季には原田敬一氏（佛教大学）による「大人のための歴史教室」（3 回）、冬期には水谷孝信氏（長浜北星高校）による「滋賀の戦争遺跡が語るもの」（3 回）が行われたほか、戦争体験を聞く会や映画会は毎月開催とし、戦争遺跡見学や、自分史づくり講座など、子どもから大人までが参加できるさまざまな事業をおこないました。平和学習支援事業では、児童生徒の来館学習や出前講座にくわえて、パネル展示などをつうじた地域への平和学習支援もおこなっています。

本館ではボランティア活動もさかんで、現在の登録メンバー 65 名（平成 28 年度末現在）は語り部・語り継ぎ部活動をはじめ、8 つのグループ活動があり、本館のさまざまな事業で協働がすすんでいます。

本館は、平成 28 年度の諸事業をおえ、3 月に開館 5 周年を迎えました。

今後とも本館の運営にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

平成 29 年（2017 年）8 月

滋賀県平和祈念館館長 端 信行

# 目 次

はじめに	1
<b>I 事業概要</b>	
<b>1 展示事業</b>	
(1) 企画展示	3
(2) 企画展示関連事業	12
(3) 特別企画展示	13
(4) 地域交流展示	14
(5) その他の展示	17
(6) その他	19
<b>2 資料収集保存事業</b>	
(1) 戦争体験聞き取り調査	20
(2) 収蔵資料の整理・保存	21
<b>3 普及啓発事業</b>	
(1) 平和学習講座「プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争」、「滋賀の戦争遺跡が語るもの」(3回連続講座)	22
(2) 大人のための歴史教室「史料で読む近代日本」	23
(3) 戦争体験を聞く会	24
(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「大津第九連隊にかかわる戦争遺跡めぐり」	28
(5) 平和を祈念する日事業「戦後70年が過ぎても・・・」	29
(6) 開館5周年記念事業	31
(7) 館長講座「自分史づくり講座」	32
(8) 映画上映会	32
(9) 平和の学校あかり・ピーススクール	33
(10) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール	39
<b>4 平和学習支援事業</b>	
(1) 来館学習の支援	42
(2) 出前授業	43
(3) 地域への平和学習支援	43
(4) 資料の貸出による平和学習支援	44
(5) 戦争体験者証言映像の制作	46
(6) 当館所蔵・寄託資料の特別利用	46
<b>5 ボランティア活動支援事業</b>	47
<b>II 資料</b>	
1 利用状況	49
2 広報活動	53
3 組織	56
4 決算	57
5 施設概要	58
6 利用案内	59
7 関係規程	60

# I 事業概要

## 1 展示事業

### (1) 企画展示

#### 第14回企画展示「日本陸軍と軍装」

○会期 平成28年(2016)6月25日～9月25日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨：日本軍の将兵はどのように軍隊に組み込まれ、戦争に関わるようになったのか。戦後70年を経たいま、このことを具体的に知る人は少なくなった。戦争と軍隊について詳しく語り、あるいは記録を残した方は多くなく、従軍した証しとして品物とわずかな体験談を残しただけの方がほとんどであることから、軍装品を中心に残された品物からうかがえる軍隊の仕組みと戦争のようすを紹介した。



第14回企画展示チラシ 表面



第14回企画展示チラシ 裏面

概要：

#### 【プロローグ】

当時の陸軍のようすを象徴的に示すものとして、戦地における兵士のフル装備を復元した。また、戦争の経過を示す主だった出来事を当時の新聞紙面の展示で紹介した。



### 【陸軍の組織】

陸軍の組織を俯瞰し、軍服や持ち物の違いであらわされた将校と兵士の区別を紹介するとともに、昭和13年に実施された軍服の変化を紹介した。



### 【多様な軍服】

日本軍の勢力が拡大したことによって、軍服も寒冷地から熱帯までの気候にあう仕様が必要となった。ここでは防寒服と防暑衣をはじめ、それぞれの風土に合わせた装備を紹介した。



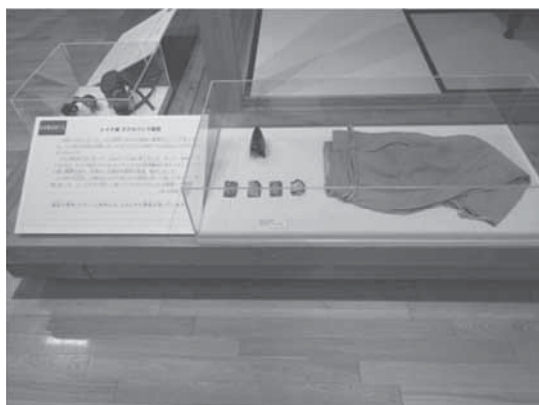
### 【兵士の装備】

軍を派遣した満洲・北支・中支・東南アジアの写真と、歩兵の標準的な装備の中身を紹介した。また、陸軍の中のある工兵・衛生兵・航空兵・通信兵といった兵種ごとに異なる装備、および戦死した木村弘さんのお守りをはじめとする持ち物を紹介した。



### 【出征兵士の家】

5名の方の戦場体験談と、3名の方の弾痕が残る装備品を紹介し、座敷の復元室では家族を戦地へ送って内地に残された人々の品物・体験談を紹介した。



## 第15回企画展示「少女たちが綴った『学級日誌』-戦時中の瀬田国民学校五年智組-」

○会期 平成28年(2016)10月1日～12月25日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨：戦時中の子どもたちは、なにをみて感じとっていたのか。旧栗太郡瀬田町（現在の天津市瀬田）にあった瀬田国民学校（今の瀬田小学校）の五年智組の少女たちは、昭和19年4月から担任の西川綾子先生のもとで日々の生活を『学級日誌』に描き綴っていた。天津市歴史博物館所蔵、市指定文化財の『学級日誌』を複写・拡大して展示することによって、瀬田国民学校の少女たちがみて感じた戦争を紹介した。



第15回企画展示チラシ 表面



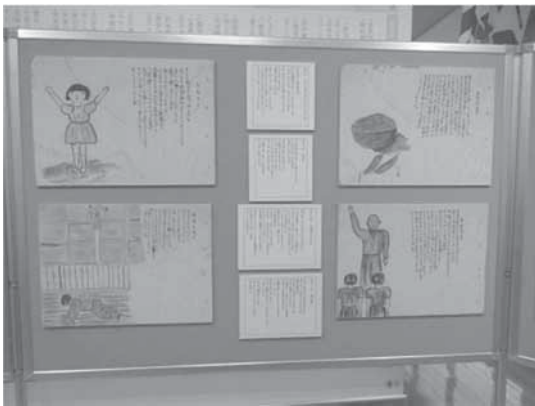
第15回企画展示チラシ 裏面

概要：

『学級日誌』79点を時系列に従って並べ、4つのトピック・コーナーを設けて関連する品物を展示することにより、『学級日誌』の背景説明とした。

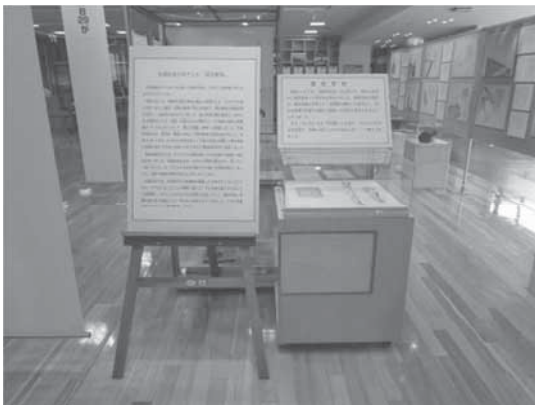
【プロローグ】

『学級日誌』を残した瀬田国民学校と五年智組、矢嶋校長と担任の西川先生を紹介し、『学級日誌』が描かれた経緯を示した。



**【矢嶋校長がめざした「総合教育」】**

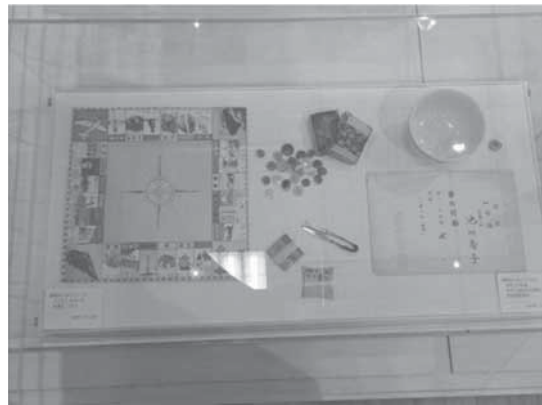
瀬田国民学校の児童が生き生きとした『学級日誌』を描くことになった背景として、当時の校長で実践的な教育を目指した矢嶋正信氏の経歴と教育方針を紹介した。



**【大阪からやってきた疎開の子】**

集団疎開で大阪からやってきた子どもたちとの服装や態度の違いに目を引かれていた児童のようすがうかがえる『学級日誌』と、当館所蔵の集団疎開体験者の品物を展示して、育った場所の異なる子どもたちの交流を紹介した。





### 【毎日のように B29 が】

米重爆撃機が毎日のように上空を通過するようになり、子どもたちの周辺にも戦争の影響が濃い影を落とすようになった後半の日記にあわせて、空襲と防空演習のようすを紹介した。



### 【『学級日記』のそれから】

『学級日記』を描いた人たちは、当時描かれなかった「終戦の日」の絵日記を 68 年ぶりに描いた。ここではその絵日記と西川先生の回想を紹介し、彼女たちにとって戦争が何であったのかをふり返った。座敷ブースでは、瀬田南大萱町で制作された日記の紹介ビデオと、西川先生の講演のようすを映写した。



## 第16回企画展示「八日市 いまむかし -飛行場があった街-」

- 会期 平成29年(2017)1月11日～4月23日
- 会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース
- 開催趣旨と概要

趣旨：八風街道と御代参街道が交差する八日市は、古くから商業の街として発展してきた。ときわ通りから金屋大通りの界限には古い形態を残す市場が並んでいた。東海道本線からはずれた八日市の街には近江鉄道と湖南鉄道（現近江鉄道八日市線）が開通し、大正11年に陸軍八日市飛行場が開設されると、急速に近代的な街へ発展していった。この回の企画展示では、陸軍八日市飛行場と八日市の街のようす、および両者のかかわりを紹介した。



第16回企画展示チラシ 表面



第16回企画展示チラシ 裏面

概要：

### 【プロローグ】

市場町として古い歴史を持つ八日市の街は、陸軍八日市飛行場が開設したあと飛行場とともに発展の道歩んだ。ここでは飛行場建設直後の街を写した航空写真をプロローグとし、裏面で飛行場誘致の発端となった荻田常三郎と沖野ヶ原飛行場について紹介した。



### 【陸軍八日市飛行場】

八日市飛行場の位置と飛行場のようすについて、地図と当時の写真、絵はがきで紹介した。また、年に1回開催された飛行場まつりと、「飛行場前」まで延伸された八日市鉄道についても紹介した。



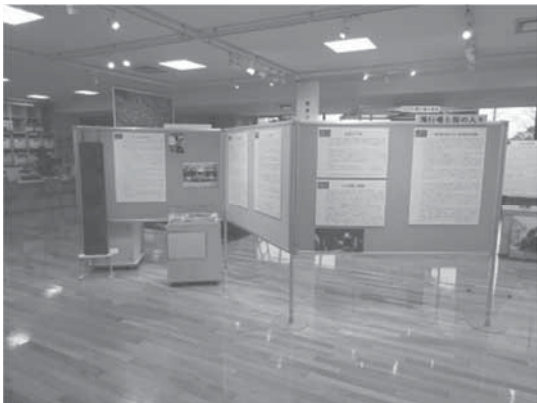
### 【飛行場がある街】

飛行場が開設された当時の街の様子を写真で紹介し、飛行場に関するみやげ物や清酒を販売した店や門前で営業していた商店、旅館、将校アパート（八紘荘）を営んだ方々、そして飛行場に勤務した方、在隊した方々の証言を展示することによって、経済的に深くかかわった街のようすを紹介した。



### 【八日市の空襲】

戦争末期に飛行場拡大にともなって強圧的に行われた土地買収のようす、そして昭和20年7月下旬に飛行場周辺を襲った空襲のようすを体験談と資料で紹介した。



### 【戦争の終わり】

武装解除から進駐軍の接収をへて飛行場が閉鎖した経緯を体験談で紹介し、廃材を利用した生活用品やモノ不足に悩む周辺住民が持ち帰った廃材を展示して、飛行場の最後のようすを紹介した。



## (2) 企画展示関連事業

### ○『戦時下の滋賀師範』冊子の刊行

平成 27 年度第 13 回企画展示（平成 28 年 1 月 6 日～6 月 19 日）で実施した同名の企画展示に基づいて、冊子を編集し、サンライズ出版社から刊行した。刊行日は平成 28 年 9 月 1 日。



冊子「戦時下の滋賀師範」

### ○第 15 回企画展示関連 講演会「瀬田国民学校学級日誌と 2 人の教師」

講師 吉村文成（元龍谷大学教授、関西学院大学講師）

開催日時 平成 28 年 10 月 9 日（日）13：30～

参加者 30 名

事業概要 瀬田国民学校の学級日誌を世に紹介した『戦争の時代の子どもたち』（岩波書店）の著者、吉村先生による講演会を開催した。

### ○第 16 回企画展示関連 開館 5 周年プレ・イベント映画上映会『雲ながるる果てに』

開催日時 平成 29 年 3 月 5 日（日）13：30～

参加者 88 名

事業概要 海軍予備学生の遺稿集『雲ながるる果てに』にもとづいた劇映画。家城巳代治監督、鶴田浩二・木村功ほか出演。昭和 28 年制作。八日市飛行場跡地でロケが行われた映画で、上映前にエキストラ参加した武久善彦さん（当館ボランティア）の講演を行った。

### ○第 16 回企画展示関連 開館 5 周年プレ・イベント戦争遺跡探訪会「探訪 陸軍八日市飛行場と八日市の街」

開催日時 平成 29 年 3 月 26 日（日）9：30～12：00

参加者 27 名

事業概要 八日市の街に残る旧陸軍八日市飛行場の痕跡と当時の陸軍関係施設の跡をめぐる探訪ツアーを実施した。（全行程約 7.5 km）

### (3) 特別企画展示

#### 第5回特別企画展示 「八日市の街並み」

○会期 平成28年(2016年)3月8日～平成29年(2017年)3月22日

○会場 滋賀県平和祈念館エントランス

○開催趣旨

太郎坊宮から八日市の街と陸軍八日市飛行場跡付近を見渡した、昭和30年ごろの写真を中心におき、八日市飛行場のスナップ写真を両脇に配置して、かつての八日市飛行場と八日市の街を紹介した。あわせて、「陸軍八日市飛行場」と題するパンフレットを作成し、展示解説とした。



第5回特別企画展示



パンフレット「陸軍八日市飛行場」

#### (4) 地域交流展示

##### 「戦争体験者証言映像上映」

○会期 平成 28 年（2016 年）4 月 6 日～6 月 30 日

○開催趣旨

昨年度制作した戦争体験者証言映像をより広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映。同時に証言された 5 名の方の簡単な紹介パネルを展示した。



戦争体験者証言映像上映の様子

##### 「滋賀の戦争の跡パネル展」

○会期 平成 28 年（2016 年）7 月 6 日～8 月 31 日

○開催趣旨

滋賀県下の空襲の跡や戦争中に使用されていた戦跡を紹介したパネルを展示。滋賀を湖東・湖西・湖南・湖北の 4 地域に区切り、それぞれの地域から代表する 4、5 か所の戦跡を紹介。湖東地域からは、八日市布引山掩体・飛行場の正門・安土民家に残る防空壕・八幡北ノ庄射撃場・城南小学校ロダンの像の 5 か所をパネルにして展示した。



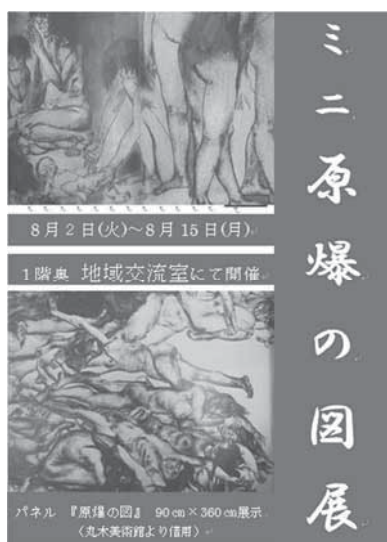
滋賀の戦争の跡パネル展の様子

## 「ミニ原爆の図展」

○会期 平成 28 年（2016 年）8 月 2 日～8 月 15 日

○開催趣旨

「原爆の図」の縮小パネル版（大パネル 90×360）2 枚を丸木美術館より借用し展示。原爆の図は全 15 部あるが、そのうち第 5 部「少年少女」第 8 部「救出」を 8 月の原爆投下の日に合わせ、平和を祈念する日の 15 日まで展示した。



ミニ原爆の図展 ポスター

## 「児童生徒向け体験型学習展示」

○会期 平成 28 年（2016 年）9 月 7 日～12 月 25 日

○開催趣旨

背嚢を背負った時の重さ体験や、戦争当時の音楽（軍歌）を聞いたり、戦時の少年雑誌を読んだり、戦時中の遊びなどを体験したりできる。千人針の玉どめ体験コーナーをカウンター前に設置、銃剣銃などもハンズオン資料として展示した。



体験型学習展示の様子



## 「子ども平和学習成果物展」

○会期 平成 29 年（2017 年）1 月 11 日～3 月 26 日

○開催趣旨

各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたもののほか、新聞形式やパンフレット形式でまとめたもの）を展示した。また、平成 28 年 2 学期来館学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージカード（名刺サイズ）1,868 枚を展示した。



子ども平和学習成果物展の様子



メッセージカードの展示の様子

## (5) その他の展示

### 「奉安庫」常設

- 会期 平成 26 年（2014 年）6 月 28 日～
- 展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 研修室横壁面
- 開催趣旨

当館の新たな常設展示資料として、大津市立上田上小学校より寄贈いただいた奉安庫を設置した。戦前の学校では、明治の終わり頃から、紀元節、天長節、新年、明治節の国家祝賀式典には、宮内省から各学校に貸与された天皇と皇后の写真（以下、「御真影」）に最敬礼し、「教育勅語」を奉読する儀式が執り行われていた。この儀式の際に使用する「御真影」と「教育勅語」を納める奉安所として、各学校の講堂や校長室などに奉安庫が設置された。

大津市立上田上小学校の奉安庫は、昭和 8 年（1933 年）10 月 7 日に竣工された講堂に設置されていたが、昭和 58 年（1983 年）、講堂が老朽化のために解体された際に奉安庫の枠のみ取り出し、校舎の階段の踊り場に移設された。平成 25 年（2013 年）には、設置されていた校舎の改修が決まったため、当館へ寄贈いただいたものである。



奉安庫展示

## 「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール作品展」

○会期 平成 28 年（2016 年）11 月 5 日～平成 29 年（2017 年）2 月 28 日

○展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 ギャラリー

○開催趣旨

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。優秀作品 6 作品を含む応募のあったすべての作品（361 点）を展示した。



優秀作品の展示の様子



応募全作品の展示の様子

## (6) その他

### ○基本展示の増補

床地図と地域紹介からなる基本展示をおぎなう目的で、企画展示室の約1/3を利用して展示スペースを設けた。「15年にわたる戦争」「徴兵・出征」「滋賀の戦没者」「空襲」「勤労働員」「集団疎開」「戦時下の暮らし」の7小テーマにしたがい、滋賀県における戦争の状況を品物・写真・図表・体験談で紹介した。

本コーナーは「第Ⅱ期計画」にうたわれた「基本展示の増補・改訂」に基づく増補部分の試行として実施したもので、今後の検討によって適宜改訂を加えながら定着をはかる予定である。



基本展示増補部分の試行の様子

## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行っている。体験者の高齢化が進む中、一人でも多くの方の体験を記録として残すことが急務となっている。平成28年度の調査件数は87件で、その内37名の方から体験談の聞き取りを行った。また、寄贈資料についての聞き取りは51件、戦跡についての聞き取りは1件である。

～平成28年度戦争体験聞き取り調査事例～

#### 東寧の地下要塞で戦い、終戦後シベリア強制抑留

礒田 稔さん（92才）＝大津市＝

礒田稔さんは、大津商業学校を卒業し、お兄さんの友だちがたくさん行っていた当時の満州、鞍山製鉄所に就職されます。戦争1年前の昭和19年のことです。最初はマンガン鉱の採掘現場のある山の中での暮らしでした。翌年2月、礒田さんは錦州省にあった富士在満国民学校で徴兵検査を受け、翌年5月、東寧の部隊に入隊します。この部隊は、ソ連との国境近くに作られていた地下要塞にありました。東寧の地下要塞は、山の下に何本もトンネルを掘り、弾薬庫や食糧庫等が並んでいたと言います。

礒田さんは、入隊したばかりでしたが、抜擢されて衛兵勤務に就きます。それは昭和20年7月下旬頃のことでした。8月9日になってソ連軍の侵攻が始まりました。同じ衛兵所でも国境近くの分哨はいっぺんにやられたと言いますが、礒田さんのいた馬廠分哨は、少し離れていたため、持ちこたえられたそうです。しかし、銃弾が頭の上を花火のように流れてきました。最前線の日本軍は、5、6人の斬り込み隊で、手榴弾をもって突撃していったのでした。しかし、圧倒的に有力な武器である自動小銃と迫撃砲にはかなわず、みんなやられていったと言います。その中には同期の戦友もいました。

礒田さんたちは撤退命令によって馬廠分哨を離れますが、それから30分ほどして山の上から見ると、分哨から煙が上がっていました。

約1週間逃避行をして、安寧という町でソ連軍の武装解除を受けます。その1週間の間に礒田さんたちが見聞きしたことは、ソ連兵との銃剣での格闘や日本軍将校の奥さんたちを部下が命令で射殺したこと、一般の日本の民間人が弾薬庫で自爆していたことなど、凄惨を極める戦地での現状でした。

投降した礒田さんたちは、ソ連軍によってシベリアへ連行されます。いわゆるシベリア強制抑留の始まりでした。シベリアの各地を移動しながら、伐採などの重労働の生活を送りました。礒田さんが日本の土を踏むことができたのは、昭和23年の5月でした。

## (2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、体験談にまつわる資料や戦争当時の滋賀県に関連する資料 35,000 点以上を収集し、その整理、保管を行っている。平成 28 年度は、新たに 2,291 点の資料を収集した。

ほとんどの寄贈資料は、県民の皆さまのご自宅などで保管された遺品である。また、戦争体験者からその子、孫世代の方々からのご寄贈が増えてきた。私たちは寄贈資料の状態を保ち、次世代へ継承していくためにも、資料の整理作業を継続して行っている。

～平成 28 年度受け入れ資料の事例～

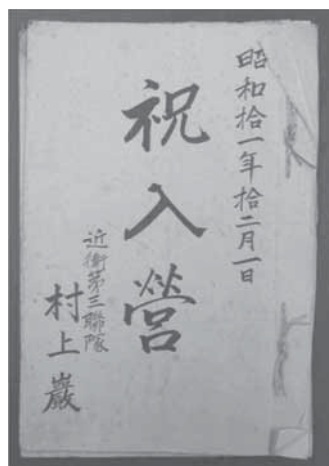


陸軍将校（少尉）正装

ひるた  
晝田利秋さんが着用。昭和 12 年に戦死。  
近江八幡市 晝田武彦さん提供



写真 ホームから出征兵士を見送る  
八日市駅と思われる。年代不明。  
東近江市 佐々木観高さん提供



餞別帳「祝入営」 昭和 11 年 12 月 1 日  
村上巖さんが入営時に贈られた品々を  
記録。贈られた品々は、清酒や葉書、旗、  
商品券などさまざまであった。  
大津市 村上菊千代さん提供

### 3 普及啓発事業

#### (1) 平和学習講座

##### 「プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争」

○開催日時 平成 28 年（2016 年）7 月 10 日（日） 13：30～15：00

○受講者数 28 名

○事業概要

青梅市立美術館の学芸員田島奈都子氏を講師に迎えて、「プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争」と題して講演いただいた。戦時期に政府とその外郭団体が製作したプロパガンダ・ポスターは、「戦争の勝利」を演出することによって国民の戦意を高揚させ、戦時体制の強化継続に絶大な効力を発揮した。

長野県阿智村に現存する 1937 年の日中戦争開戦から 45 年の終戦までの約 10 年間に製作された 135 枚のポスターの一部を用いて、解説いただいた。

開戦までのプロセスを、大日本帝国憲法下での政治システムの特質と変化、軍部や政府または宮中グループなどの動き、外交政策、メディアや議会の論調などについて多方面から紹介、説明いただいた。



平和学習講座の様子



平和学習講座の様子

##### 「滋賀の戦争遺跡が語るもの」（3回連続講座）

○開催日時 平成 28 年（2016 年）12 月 11 日（日）、1 月 15 日（日）、2 月 12 日（日）  
各回ともに 13：30～15：00

○講座内容および受講者

第 1 講「身近な戦争遺跡と人々のかかわり」

受講者 33 名

第 2 講「滋賀県の空襲と戦争遺跡」

受講者 14 名

第 3 講「本土決戦と滋賀の銃後」

受講者 30 名

### ○事業概要

滋賀県立長浜北星高等学校で講師をされている水谷孝信氏を講師に迎えて、「滋賀の戦争遺跡が語るもの」と題して3回連続講座で講演いただいた。テーマに対して、滋賀県に現存する戦争遺跡の数々を、スライドを用いて当時の資料と照らし合わせながら解説していただくとともに、今まで知られていない戦争遺跡についても紹介していただいた。



平和学習講座の様子



平和学習講座の様子

## (2) 大人のための歴史教室「史料で読む近代日本」

### ○開催日時

平成28年（2016年）9月24日（土）、10月29日（土）、11月19日（土）  
各回ともに14:00～15:30

### ○講座内容および受講者

第1講「廃藩置県と西郷隆盛・木戸孝允」	受講者 23名
第2講「日清両国による沖縄県分割の危機」	受講者 28名
第3講「憲法制定をめぐる光と陰」	受講者 25名

### ○事業概要

佛教大学歴史学部の原田敬一教授を講師に迎えて、「史料で読む近代日本」と題し、戦争当時の歴史的事象や背景を学習するために、3回連続講座として開講した。各講座では、廃藩置県に対して木戸孝允が何を感じ、西郷隆盛がどのような不安と決意を持っていたか、など各講座のテーマごとに史料を用いて紹介いただき、読み解きながら歴史の重みを感じ取るような講義をしていただいた。





大人のための歴史教室の様子

### (3) 戦争体験を聞く会

【平成 27 年度より毎月 1 回実施】(8 月は平和を祈念する日事業、3 月は 5 周年事業にて実施)

○開催日時

平成 28 年 (2016 年) 4 月 24 日、5 月 22 日、6 月 19 日、7 月 17 日、9 月 18 日、10 月 16 日、11 月 13 日、12 月 18 日、平成 29 年 (2017 年) 1 月 22 日、2 月 19 日、各回ともに 13:30~15:00

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

4 月 24 日 (日)

長谷川良治さん (大正 12 年生まれ、野洲市在住)

「昭和 18 年の滋賀師範」(企画展示関連)

参加者 27 名

5 月 22 日 (日)

大橋敏太郎さん (大正 10 年生まれ、東近江市在住)

「特別陸戦隊に志願して」

参加者 37 名

「戦争体験を聞く会」の様子



6月19日（日）

近藤伊助さん（大正15年生まれ、多賀町在住）

「人間魚雷『回天』の搭乗員となって」

参加者 33名



7月17日（日）

北西一夫さん（昭和2年生まれ、日野町在住）

「神風特別攻撃隊員として終戦を迎えて」

参加者 104名



9月18日（日）

宮川進さん（昭和5年生まれ、大津市在住）

「最年少14歳の軍人として」

参加者 38名



10月16日（日）

大城昇さん（昭和7年生まれ、米原市在住）

「終戦間際の逃避行 ～フィリピンで生まれて～」

参加者 25名



11月13日（日）

木本勇さん（大正11年生まれ、大津市在住）

「激戦地・沖縄からの生還」

参加者 56名



12月18日（日）

内田喜代子さん、奥村早智子さん、本郷豊子さん、  
吉田清子さん（昭和8,9年生まれ、大津市在住）

「座談会 戦時中に描いた『学級日誌』」

（企画展示関連）

参加者 38名



1月22日（日）

磯田英夫さん（大正12年生まれ、大津市在住）

「2度の魚雷攻撃を乗り越えて

－フィリピン回顧録－」

参加者 36名



2月19日（日）

磯田稔さん（大正15年生まれ、大津市在住）

「終戦間際のソ連侵攻 - 満州・最前線の記憶 - 」

参加者 57名



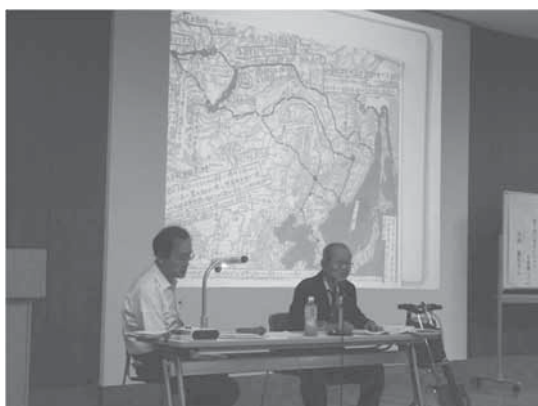
### 【平和を祈念する日事業関連】

○開催日時 平成28年（2016年）8月13日、8月14日、8月15日

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室・地域交流室

○語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
8月13日	大西義生さん	「生死の彷徨（さまよ）い人生」	60名
8月14日	青木安司さん	「戦争末期の日本を耕した食糧増産隊」	24名
8月15日	佐々木観高さん	「祖父から語り継ぐ父の面影」	24名



戦争体験を聞く会（大西義生さん）



戦争体験を聞く会（青木安司さん）

**【開館5周年記念事業関連】**

- 開催日時 平成29年（2017年）3月12日（日）10：00～15：30
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
3月12日	杉原正雄さん	「陸軍少年通信兵のルソン島戦場体験」	52名



戦争体験を聞く会の様子



戦争体験を聞く会（杉原正雄さん）

(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「大津第九連隊にかかわる戦争遺跡めぐり」  
～大津市歴史博物館・陸軍墓地周辺の講師による案内～

(若鷲の碑・弾薬庫跡・法明院・陸軍墓地・近江神宮など)

○開催日時 平成 28 年 (2016 年) 6 月 12 日 (日) 9:00～12:00

○参加者 35 名

○事業概要

滋賀県立大学教授 中井均氏を講師に迎えて、「大津第九連隊にかかわる戦争遺跡めぐり」を開催した。大津市歴史博物館裏の弾薬庫跡からハイキングコースを利用して、法明院、陸軍墓地を経て近江神宮まで戦跡ごとに丁寧な解説をしていただきとともに参加者からの質問にも丁寧にお答えいただいた。



現地見学の様子



現地見学の様子





戦争体験を聞く会 (佐々木観高さん)



平和コンサート「琴線歌」



みんなで学ぶ平和学習



ボランティアによる創作劇

## (6) 開館5周年記念事業

- 開催日時 平成29年(2017年)3月12日(日)10:00~15:30
- 参加者 176名(開催日の来館者数)
- 事業概要

開館5周年を記念して3月12日に「戦争体験を聞く会」や新作DVD「戦争証言2016」の上映会、当館職員による戦争体験聞き取り調査などの事業活動報告会、また子ども向け事業「平和の学校・あかり」ピーススクール生による活動報告会など様々なプログラムを開催した。さらに当館のボランティアグループによる戦時食の提供や創作劇の上演など日ごろの活動成果を発表いただいた。

開館5周年事業 滋賀県平和記念館

# 開館から5年を むかえます

新館の10上映会、戦争体験を聞く会、平和の学校あかりのボランティアグループの発表、当館職員の活動報告会などを行います。

3月12日(日)10:00~15:30

『平和の学校』あかりのようす(平成24年10月)

当館ボランティアグループによる『ボランティア活動報告展』を開催

平成29年3月12日(日) 観覧:2階 研修室

10:00~10:50	新作DVD『戦争証言』上映会
11:00~12:00	平和記念館事業活動報告会 『滋賀県民の戦争体験』(学芸部企画委員) 『戦争体験語り調査』(調査部企画委員) 『学校への平和学習支援』(教育課企画委員)
12:00~12:40	活動報告会①(ボランティアグループ) 戦時食グループによる戦時食提供(2階多目的室)
13:00~14:30	戦争体験を聞く会 杉原 正雄さん(大正14年生まれ) 『陸軍少年通信兵のルソン島戦場体験』
14:30~15:00	活動報告会②(ピーススクール生) ピーススクール生からの活動発表
15:00~15:40	活動報告会③(ボランティアグループ) 劇・入形劇グループによる上演

## 戦争体験を聞く会

○3月12日(日)13:00~14:30

### 「陸軍少年通信兵のルソン島戦場体験」

杉原 正雄 さん(大正14年生まれ 彦根市在住)  
昭和19年、新潟県・村松陸軍少年通信学校を繰り上げ卒業のち、南方要員としてフィリピン・ルソン島へ。その後は、ルソン島北部を転々としながらログロイ山・複合陣地で戦敵を迎えらるるまでの地獄の日々についてお話しいただきます。

・若い世代の私たちが戦争を知ることには意味があると思います。少しでも周知に広げられたらと思っています。  
・語り部の方が年々少なくなっており、つらい思い出や体験を聞かせていただくことはとても価値のあるものだと感じました。  
・これから表裏に連れていく中でも二度と戦争がないようにするためには過去をしっかりと受け継いで、つなぐことが大切だと感じました。(これまでの参加者の感想より)

平和記念館ボランティアグループによる  
ボランティア活動報告展 2階ロビーにて

報告、当館には40名あまりの方がボランティアとして登録され、さまざまなグループで活動していただいております。当館をさまざまな面でサポートいただいております。開催が実施されるにあたり、各グループが今までどのような活動をしてきたのか、また現在どのような活動をしているのかをパネルや写真などで展示させていただきます。

ボランティア活動・グループ

- 当館常設展示係
- 語り部・語り継ぎ部
- 戦時食グループ
- 創作劇・入形劇グループ
- 平和学習支援グループ
- 開館お楽しみグループ
- 活動報告会係
- 大衆づくりグループ

会場: 滋賀県平和記念館  
(東近江市下中野町43番地)  
お問い合わせは滋賀県平和記念館まで。  
電話: 0749-46-0300  
ファックス: 0749-46-0350  
メール: heiwapref.shiga.lg.jp

■名神高速道路「八日市IC」から車で約10分  
■JR琵琶湖線「彦根駅」徒歩約10分  
■JR琵琶湖線「彦根駅」徒歩約10分  
■JR琵琶湖線「彦根駅」徒歩約10分  
■JR琵琶湖線「彦根駅」徒歩約10分

イベントチラシ





館職員の事業活動報告会



ボランティアによる戦時食の提供



ボランティアによる創作劇



戦争体験を聞く会（杉原正雄さん）

## (7) 館長講座「自分史づくり講座」

○開催日時 毎月第2土曜日 14:00～15:30

○参加者 延べ35名

○事業概要

平成24年（2012年）7月から、自分史づくりをサポートする館長講座「自分史づくり講座」を月1回開催している。講座では、受講者自身が書き進めている自分史の原稿を持参し、館長が文章の表現方法など具体的な助言を行っている。

## (8) 映画上映会

【平成27年度より毎月1回実施】

○開催日時

平成28年（2016年）4月17日、5月15日、6月26日、7月24日、8月21日、9月25日、10月23日、11月20日、12月25日、平成29年（2017年）1月29日、2月26日、3月19日（いずれも13:30～）

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○上映作品および参加者数

月日	上映作品	参加者
4月17日	「禁じられた遊び」	24名
5月15日	劇団四季ミュージカル「李香蘭」	43名
6月26日	「バビロンの陽光」	24名
7月24日	劇映画「はだしのゲン」(第1部)	93名
8月21日	劇団四季ミュージカル「異国の丘」	52名
9月25日	「アフリカの女王」	30名
10月23日	「おじいさんと草原の小学校」	24名
11月20日	劇団四季ミュージカル「南十字星」	60名
12月25日	「飛べ!ダコタ」	43名
1月29日	ドキュメンタリードラマ「カメジロー～沖縄の青春～」	65名
2月26日	ドラマ「真珠湾からの帰還 軍神と捕虜第一号」	69名
3月19日	「ノー・マンズ・ランド」	33名

(9) 平和の学校あかり・ピーススクール

○開催日時

平成28年(2016年)5月28日、6月5日、7月28日、7月31日、8月1日、8月6日、8月7日、8月9日、8月10日、10月2日、10月30日、11月6日、平成29年(2017年)1月28日、3月12日の14日間

○会員数 54名 のべ参加者 307名

○事業内容

① 「挑戦! 難問クイズラリー(開校式)」(5月28日)

全14回にわたる事業の開校式を行い、事業の概要を伝えた。また、平和学習や館内見学を実施し、最後はクイズラリーI とクイズラリーII(難問)

に取り組み、缶バッジの制作も実施した。



クイズラリーの様子



展示見学の様子

② 「育てて食べよう戦時食Ⅰ」(6月5日)

育てて食べよう戦時食の1回目。愛東マーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時中に食べられた野草を祈念館駐車場付近で観察し、摘み取った野草のしおり作りを行う。また、最後に戦時食ボランティアの方が作った戦時のおやつを試食した。



サツマイモの苗植えの様子



おやつ(戦時食)の試食の様子

③ 「滋賀戦跡めぐりⅠ(八日市・米原)」(7月28日)

東近江市にある布引グリーンスタジアムの競技場付近の丘から、かつて飛行場であった市内を一望し、その布引山麓に残るコンクリート製の掩体を見学。その後、米原市に移動し岩脇まちづくり委員会の藤本伝一さんの案内で蒸気機関車避難壕を見学し、岩脇山を散策。県内に残る戦争遺跡にふれる事業を実施した。



専門員による掩体の説明



避難壕見学

④ 「戦時食（すいとん）作り」（7月31日）

戦時食の代表である「すいとん」を調理して試食する体験型ワークショップ。戦時食ボランティアの協力で愛東コミュニティーセンター調理室を借用して実施。戦時の食を知っておられる方の実際のお話も聞いた。



戦時食ワークショップの様子



戦時食ワークショップの様子

⑤ 「子ども映画会」（8月1日）

大好評のNHK制作ドラマ「さよならアルマ～赤紙をもらった犬～」(2011年制作)を上映。上映作品は、犬と兵士の友情物語。

⑥ 「戦争体験お話し会」中止→映画「はだしのゲン」上映（8月6日）

お話を予定していた体験者の都合により急遽中止。代わりに映画「はだしのゲン」を上映。

⑦ 「エコキャンドル作り」(8月7日)

エコプラザ菜の花館にて廃油を利用したエコキャンドル作りを行う。エコプラザ菜の花館の見学も実施。平和を祈念し、8月の追悼の日に灯してもらう。



エコキャンドル作りの様子



エコキャンドル作りの様子

⑧ 「歴史学習&創造力アップ講座」(8月9日)

参加者を2グループに分けて実施。歴史学習では、日本が歩んだ戦争への道を学習し、創造カード遊びでは、2枚の異なるイラスト入りのカードから共通点を見つけ出してペアを作り、ものの見方を学ぶ。



歴史学習 創造カード(カルタ)遊びの様子



歴史学習 創造カード(カルタ)遊びの様子

⑨ 「滋賀戦跡めぐりⅡ(大津)」(8月10日)

大津に残る戦争遺跡をバスでめぐる。大津市歴史博物館では、模擬原爆「パンキン爆弾」を見学し、その後、大津陸軍墓地や大津自衛隊駐屯地にある格納庫や水上滑走路を見学した。



パンプキン爆弾の見学の様子



自衛隊駐屯地の見学の様子

⑩ 「育てて食べよう戦時食Ⅱ」(10月2日)

愛東マーガレットステーション隣接農園でサツマイモ掘りをし、採れたサツマイモで戦時食を作るワークショップを体験した。



サツマイモ収穫の様子



戦時食作りの様子

⑪ 「戦争体験聞き取り調査」(10月30日)

大阪から滋賀へ疎開生活を体験された方や大阪空襲を体験された方から体験を聞き取りし、調査票にまとめる。次回、大阪城戦跡めぐりに学びをつなげる連続講座として実施した。



調査員から調査に向けての話の様子



聞き取り調査の様子

⑫ 「大阪城戦跡めぐり」(11月6日)

第11回で聞き取った疎開元である大阪の空襲について調べた。

今は観光地である大阪城にも、たくさんの軍事施設があり、いまだに残るたくさんの空襲のあとや施設を見学。ピース大阪にも行き、展示から戦争を多角的に捉えた。



大阪城戦跡めぐり



大阪城内の空襲跡

⑬ 「プレゼンカアップ講座」(1月28日)

ピーススクールでの活動のまとめ。パワーポイントを使用し、ピーススクールで学んだ戦争や平和への思いをスライドにまとめた。

⑭ 「ピーススクール活動発表」(3月12日)

周年事業の中でピーススクールの活動発表を盛り込み、一般の参加者も含めて、前回「プレゼンカアップ講座」でまとめた活動の発表を行った。小5から中3まで各学年1名ずつ、合計5名が発表した。

その後、ピーススクールの閉校式を行い、5回以上参加者の6名が館長か

らの修了証書を受け取った。



成果発表の様子



閉校式（終了証書・記念品授与）の様子

### (10) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

○展示期間 平成 28 年（2016 年）11 月 5 日～平成 29 年（2017 年）2 月 28 日

○表彰式 平成 28 年（2016 年）11 月 5 日

#### ○事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校 5 年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校 34 校から 361 作品の応募があった。

#### ○入賞者

各 賞	学 校 名	学 年	氏 名
ピース賞（小学校）	草津市立山田小学校	第 6 学年	おおつき みこと 大槻 美琴
ピース賞（中学校）	守山市立明富中学校	第 3 学年	いしはら たかのり 石原 貴法
ハート賞（小学校）	日野町立桜谷小学校	第 5 学年	にしかわ おうが 西川 旺我
ハート賞（中学校）	東近江市立永源寺中学校	第 2 学年	すずき ゆりか 鈴木 有里佳
オリーブ賞（小学校）	東近江市立八日市南小学校	第 6 学年	おかむら なつみ 岡村 菜摘
オリーブ賞（中学校）	滋賀県立水口東中学校	第 3 学年	よごろ あやか 余頃 彩香


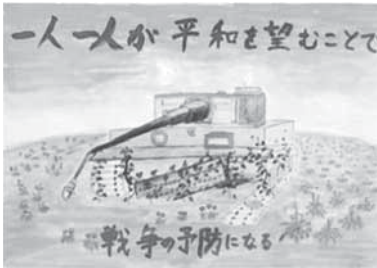





※各賞について

ピース賞・・・滋賀県平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

各賞	作品	制作者の思い
ピース賞(小学校)		<p>いつまでも自然がいっぱいで平和な世界であってほしいと願ってかきました。</p>
ピース賞(中学校)		<p>世界中の人々が世界平和を望んでいるなら戦争は起こらないだろうと思って描きました。たくさんの植物は平和を表していて、ボロボロの戦車は戦争の悲惨さを表しています。</p>
ハート賞(小学校)		<p>ピースというのはえい語で平和といういみです。 それでちきゅうにピースをかいてみました。</p>
ハート賞(中学校)		<p>この絵は、ピース(平和)をテーマに皆がピースをしている写真をかさねていて、その写真をながめている絵を描きました。どの写真もピースしていて、とても楽しそうな写真を描きました。</p>
オリーブ賞(小学校)		<p>今はいたって「ふつう」の豊かな景色でも、71年前は戦争の空襲によって、まるで地獄のようなおそろしい景色になってしまっていたということを「忘れない」と思う気持ちが大切だということ。</p>

オリーブ賞(中学校)



私はこの絵でなんでもありだということを表現しています。誰の個性も認められる世の中です。争うのではなく、いじわるするのではなく、そういうのもあるんだなと理解できなくても受け入れていこうと伝えたいです。

## 4 平和学習支援事業

### (1) 来館学習の支援

#### ○来館学校数 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	47校	42校	4校	1校
児童・生徒数	2,224人	1,933人	226人	65人

#### ○主な方法

- ・ 展示見学  
(学校が作成するワークシート  
や当館職員が作成したクイズラ  
リーを用いての調べ学習)
- ・ 館の職員によるミニ講座
- ・ 戦争体験者によるお話会
- ・ 戦時食体験



来館学習での展示見学の様子



戦争体験談を聞く様子

## (2) 出前授業

### ○出前授業実施校 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学
学校数	88 校	61 校	18 校	8 校	1 校
児童・生徒数	8,022 人	4,785 人	1,877 人	1,290 人	70 人

### ○主な方法

- ・実物や写真・動画の提示
- ・体験談の提示
- ・資料観察



学校での出前授業での様子



手に取って確認する様子

## (3) 地域への平和学習支援

前年の「戦後 70 年」とメディアなどで取り上げられていた時と比べると若干熱も冷めてきたように感じるが、戦争を体験していない大人が増え、「子どもたち」とともに「大人」への語り継ぎが重要になることを踏まえて、公民館や地域の自治会などの団体などからの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前授業を実施した。

平成 28 年度においては、13 団体、658 人の利用があった。

## ○主な内容

- ・「滋賀への空襲」
- ・「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・「戦争と滋賀」



地域での出前授業の様子

## (4) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、アニメ画入りの戦時体験映像の貸出を行っている。

平成 28 年度は、新たに「戦争体験者証言映像(2016)」を制作し、平成 29 年度から貸出を始める。

学校への貸出の傾向としては、授業で使うハンズオン資料や、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、今年度に貸出を始めた「戦争体験者証言映像(2015)」の貸出数が非常に多かった。また、平成 28 年度も夏期にパネルの貸出が集中する傾向にあった。

## ○資料貸出しの実績

### ①学校への貸出 30 校

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	30 校	24 校	5 校	1 校
児童・生徒数	2,788 人	1,903 人	489 人	396 人

### ②地域への貸出 49 件

## ○貸出資料の種類

- ① ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）出征のぼり（右写真）
- ② パネル…Aセット（16枚組）  
Bセット（20枚組）  
Cセット（16枚組）＜滋賀で学ぶ戦争の記録＞  
写真・ポスター類（64枚）
- ③ 小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット
- ④ 視聴覚資料
  - ・滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖（うみ）17本」
  - ・小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像
  - ・「大阪から来た女の子」「滋賀県満州報国農場の若者たち」
  - ・2014、2015、2016年度制作の戦争体験者証言映像（DVD版・BD版）
  - ・その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD



## (5) 戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民に戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、委託事業によって制作した。昨年度の戦争体験者証言映像に引き続き、今年度は4名の体験者の体験談を次の2本の映像にまとめた。平成29年3月12日の『開館5周年記念事業』においてお披露目上映会を開催した。

『戦争体験者証言映像 戦争証言 2016』DVD・Blue-ray

「徴兵 ～市民の戦争 出征から復員～」 磯田稔さん・木本勇さん（24分）

「空襲 ～失われた市民の命～」 小島秀治郎さん・奥村チエミさん（21分）

戦争体験者映像『戦争証言 2016』チラシ

## (6) 当館所蔵・寄託資料の特別利用

平成28年度は、19件の特別利用申請があり、利用目的を吟味したうえで許可した。

目的別の内訳は以下のとおり。

刊行物等への掲載	7件
研究・講演資料等への利用	5件
マスメディアへの掲載	5件
寄贈者本人・親族等からの請求	2件

## 5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成 23 年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。平成 28 年度においては、新たにボランティア登録の申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を 4 回開催（4、7、10、1 月）し、6 名の方が新たにボランティア登録をされた。平成 28 年度末現在におけるボランティア登録者数は 65 名（平成 28 年度末現在）で、年齢層は 10 代から 80 代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、戦時食体験活動や創作紙芝居・人形劇上演活動、戦時中の手紙等を読みやすいよう解説する活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力なども継続して行われている。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館とをつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

### ○ボランティア活動の紹介

来館者案内活動	館内での来館者との交流や案内をします。
語り部・語り継ぎ部活動	自らの体験や家族や体験者の方々から聞いた話をもとに、戦争体験を語り継いでいく活動をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
創作紙芝居・人形劇グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居や人形劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解説グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解説する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2 畳）をつくり、平和への願いや当館の活動を PR します。





ボランティア登録講座



来館者への案内活動



周年事業での創作劇の上演



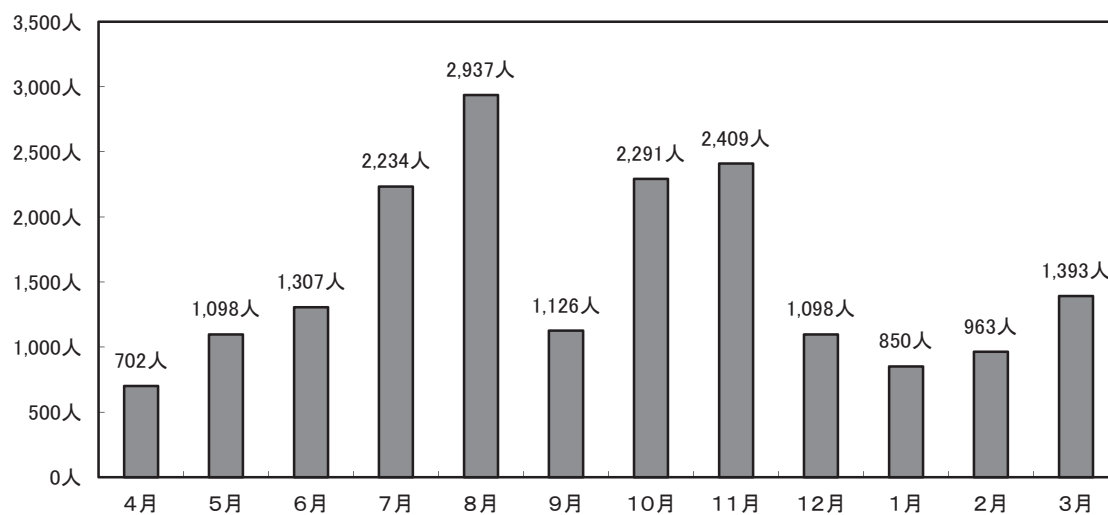
ピーススクールでの戦時食紹介活動

## Ⅱ 資料

### 1 利用状況

#### (1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの 累計
開館日数	22日	22日	19日	24日	31日	20日	23日	21日	19日	15日	20日	24日	260日	1331日
来館者数	702人	1,098人	1,307人	2,234人	2,937人	1,126人	2,291人	2,409人	1,098人	850人	963人	1,393人	18,408人	127,939人
1日あたりの 平均来館者数	32人	50人	69人	93人	95人	56人	100人	115人	58人	57人	48人	58人	71人	96人



## (2) 来館学校一覧

月	日	学 校 等 名 称	人数
平成28	6	16 高島市立今津北小学校	19
		17 東近江市立八日市南小学校	96
		30 東近江市立愛東北小学校	17
		30 東近江市立愛東南小学校	17
7	1	東近江市立山上小学校	29
		東近江市立市原小学校	13
		野洲第7学童	60
9	23	東近江市立御園小学校	80
10	3	竜王町立竜王小学校	48
		14 東近江市立箕作小学校	70
		21 竜王町立竜王西小学校	33
		21 東近江市立湖東第一小学校	36
		26 東近江市立能登川北小学校	15
		27 東近江市立布引小学校	47
		27 三重県いなべ市立西藤原小学校	16
		27 米原市立伊吹山中学校	53
		28 東近江市立湖東第二小学校	32
11		1 東近江市立八日市西小学校	53
		2 多賀町立多賀小学校	47
		2 高島市立高島中学校	15
		4 東近江市立五個荘小学校	114
		8 東近江市立能登川東小学校	64
		10 東近江市立八日市北小学校	57
		10 山内小学校	5
		11 東近江市立玉緒小学校	28
		11 長浜市立南郷里小学校	104
		11 甲賀市立伴谷小学校	59
		11 彦根市立稻枝東小学校	81
		16 彦根市立西中学校	117
		17 豊郷町立豊郷小学校	42
		18 東近江市立湖東第三小学校	46
		22 東近江市立愛東北小学校	17
		22 東近江市立愛東南小学校	17
		24 東近江市立市原小学校	29
		24 東近江市立山上小学校	13
		25 東近江市立蒲生西小学校	73
		29 草津市立山田小学校	55
30 東近江市立能登川西小学校	41		
12		1 東近江市立蒲生東小学校	38
		2 東近江市立蒲生北小学校	65
		8 東近江市立能登川南小学校	105
		8 多賀町立大滝小学校	14
		9 湖南市立下田小学校	47
		14 愛荘町立秦荘西小学校	29
		16 愛荘町立秦荘東小学校	62
平成29	2	16 近江兄弟社高等学校・単位制	65
		3 16 東近江市立愛東中学校	41

47校 2,224人

## (3) 出前授業実施団体

月	日	学 校 等 名 称	人数
平成28	4	14 甲賀市立甲南中学校	187
	5	11 滋賀大学教育学部	70
		12 高島市立朽木中学校	24
	6	15 大津市立志賀小学校	140
		17 県立守山中学校	80
		22 県立栗東高等学校	214
		24 MIHO美学院中等教育学校	80
		29 草津市立草津第二小学校	117
	7	14 東近江市立八日市西小学校	53
		14 栗東市立大宝東小学校	112
	8	3 大津市立日吉台小学校	33
		23 守山市・河西小学童	25
		23 県立聾話学校小学部・低学年	11
	9	7 県立聾話学校小学部・高学年	20
		12 野洲市立野洲小学校	150
		14 大津市立青山小学校	189
		23 長浜市立長浜北小学校	127
		27 愛荘町立秦荘東小学校	98
		27 湖南市立水戸小学校	57
		28 草津市立笠縫小学校	86
		28 守山市立吉身小学校	118
		29 大津市立真野小学校	78
	10	5 高島市立新旭北小学校	51
		6 大津市立小松小学校(P T A)	72
		6 野洲市立北野小学校	93
		7 愛荘町立愛知川小学校	86
		11 多賀町立多賀小学校	47
		12 米原市立伊吹山中学校	53
		13 大津市立平野小学校	172
		13 長浜市立富永小学校	8
		17 大津市立和邇小学校	110
		17 近江八幡市立桐原小学校	65
		19 竜王町立竜王西小学校	33
		19 近江八幡市立老蘇小学校	22
		19 大津市立田上小学校	78
		19 大津市立上田上小学校	12
		20 信楽高等学校	72
		20 彦根市立城南小学校	156
		21 近江八幡市立北里小学校	46
		25 大津市立小野小学校	24
		25 東近江市立八日市北小学校	57
		26 近江八幡市立馬淵小学校	30
		26 大津市立瀬田小学校	167
		28 大津市立瀬田南小学校	140
		28 東近江市立玉園中学校	105
		31 草津市立矢倉小学校	118
		愛荘町立愛知川小学校	87
	11	2 愛荘町立秦荘西小学校	29
		4 彦根市立旭森小学校	99
		4 近江八幡市立岡山小学校	43
		7 近江八幡市立八幡東中学校	136

月	日	学 校 等 名 称	人数
11	7	近江八幡市立金田小学校	150
	8	近江八幡市立八幡東中学校	69
	8	湖南市立菩提寺北小学校	66
	8	県立膳所高等学校	40
	9	大津市立膳所小学校	110
	15	東近江市立蒲生西小学校	73
	15	守山市立小津小学校	70
	15	彦根市立城西小学校	68
	16	彦根市立稻枝北小学校	13
	17	長浜市立長浜北小学校	115
	18	近江兄弟社高等学校・単位制	76
	18	近江八幡市立桐原東小学校	66
	24	愛荘町立秦荘東小学校	62
	29	多賀町立多賀小学校	47
	30	県立守山北高等学校	193
	12	6	近江八幡市立八幡小学校
6		彦根総合高等学校	219
6		彦根市立平田小学校	50
7		近江八幡市立安土小学校	109
9		甲賀市立水口小学校	90
10		長浜市立朝日小学校	34
15		甲賀市立雲井小学校	34
21		野洲市立祇王小学校	109
平成29 1	19	県立守山養護学校小学部	13
	19	近江八幡市立八幡東中学校・特別支援学級	5
	23	湖南市立日枝中学校	35
	26	日野町立日野小学校	97
	27	湖南市立日枝中学校	70
2	8	湖南市立石部中学校	107
	9	守山市立守山南中学校	340
	20	東近江市立能登川中学校	138
	22	東近江市立能登川中学校	104
3	1	愛荘町立秦荘中学校	69
	3	高島市立朽木中学校	15
	15	県立東大津高等学校	396
	17	長浜市立南中学校	150
	22	日野町立日野中学校	190

88校 8,022人

## 2 広報活動

### 新聞等報道記録（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

月	日	内 容	報道機関
平28 4	5	開館4周年で記念の催し 語りつぐ平和への願い	滋賀報知新聞
	5	平和祈念館コラム 新年度を迎えて	滋賀報知新聞
	8	平和祈念館コラム 新年度を迎えて	滋賀報知新聞
	19	県平和祈念館が戦争体験聞く会	読売新聞
	20	第13回企画展示開催中 戦時下の滋賀師範 -昭和18年の卒業生-	愛東マーガレットステーション広報誌
	22	長谷川さんが語る 昭和18年の滋賀師範	滋賀報知新聞
5	1	戦時下の滋賀師範 -昭和18年の卒業生- 開催中～6月19日（日）	デュエット
	10	平和祈念館コラム 子ども向け体験学習イベント「平和の学校あかり・ピーススクール」	滋賀報知新聞
	17	戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	24	大津第九連隊関係の滋賀遺跡めぐり	滋賀報知新聞
6	4	平和祈念館 子ども向け体験学習イベント	教育しが
	7	平和祈念館コラム 日の丸の寄せ書きにみる戦争体験者の思い	滋賀報知新聞
	15	岡田代表「平和を変えない」 2016参院選 滋賀県平和祈念館に来館	滋賀報知新聞
	20	デスク日誌 自分史講座	京都新聞
	24	平和祈念館コラム 日の丸の寄せ書きにみる戦争体験者の思い	滋賀報知新聞
	26	滋賀県平和祈念館で「日本陸軍と軍装」展	滋賀民報
	26	滋賀県平和祈念館 2016年・夏の行事	滋賀民報
30	戦時下の組織と兵士像 滋賀県平和祈念館第14回企画展	滋賀報知新聞	
7	1	平和学習講座「プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争」	朝日新聞
	5	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館の展示が新しくなりました	滋賀報知新聞
	8	ボランティア登録講座	滋賀報知新聞
	8	淡海文庫56 戦時下の滋賀師範 -昭和18年の卒業生- 8月上旬発売	デュエット
	13	戦争体験を聞く会 特攻隊員の終戦	滋賀報知新聞
	13	平和を祈念する日事業「戦後70年が過ぎても・・・」	教育しが
	22	映画上映会「はだしのゲン 第一部」	滋賀報知新聞
8	2	平和を祈念する日事業「戦後70年が過ぎても・・・」	滋賀報知新聞
	6	戦争体験を聞く会や映画上映会など 戦後70年が過ぎても・・・	滋賀報知新聞
	8	戦争の遺構 次代に継ぐ 県、9月から本格調査	産経新聞
	13	貴重な戦争体験聞くや上映会	毎日新聞
	13	服に残る銃弾の跡 東近江で「日本陸軍と軍装」展	京都新聞
	14	戦時 人と暮らし 陸軍将校の軍装に焦点 県平和祈念館で企画展	中日新聞
	14	戦争体験聞き平和祈る 戦時の大豆飯試食も	中日新聞
	15	戦後71年 記憶受け継ぐ夏	中日新聞
	16	戦争悲惨さリアルに感じて 所蔵品に触れる、模擬原爆模型 平和学習で工夫	京都新聞

月	日	内 容	報道機関
8	16	戦争の記憶 劇で次代に 終戦の日 ボランティア披露	産経新聞
	18	第14回企画展示 日本陸軍と軍装 9月25日(日)まで	愛東マーガレットステーション広報誌
9	6	平和祈念館コラム 戦場での体験談から平和を考える	滋賀報知新聞
	9	企画展「戦時下の滋賀師範」本に 卒業生の姿から戦争問う	滋賀報知新聞
	16	大人のための歴史教室 史料で読む近代日本 全3回	滋賀報知新聞
	16	戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	16	映画鑑賞会	滋賀報知新聞
	27	企画展示更新のため28-30日は臨時休館	滋賀報知新聞
10	4	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館の展示が新しくなりました 【第15回企画展示「少女たちが綴った『学級日誌』」】	滋賀報知新聞
	4	戦争体験を聞く会	教育しが
	5	淡海文庫56 戦時下の滋賀師範 -昭和18年の卒業生-	デュエット
	9	戦争を少女の目で 滋賀県平和祈念館で企画展	滋賀報知新聞
	12	若者たちの学校と軍隊の日々 新刊「戦時下の滋賀師範」	滋賀報知新聞
	13	ボランティア募集	滋賀報知新聞
	14	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館の展示が新しくなりました 【第15回企画展示「少女たちが綴った『学級日誌』」】	滋賀報知新聞
	14	戦時下 先生の卵の苦難知って 県平和祈念館 体験談まとめ出版	中日新聞
	16	本紹介 「戦時下の滋賀師範 -昭和18年の卒業生-」 特攻で戦死した学生たちの軌跡	滋賀民報
11	4	平和祈念館コラム 子どもたちの文化を守り続けた西川綾子先生	滋賀報知新聞
	8	平和祈念館のボランティアによる寸劇「俺は生きてかえる」	滋賀報知新聞
	9	戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	13	子どもたちの願い 滋賀県平和祈念館で作品展 ピースメッセージ絵画361点	滋賀報知新聞
	15	平和祈念館コラム 子どもたちの文化を守り続けた西川綾子先生	滋賀報知新聞
	15	若者たちの学校と軍隊の日々 新刊「戦時下の滋賀師範」滋賀県平和祈念館編	滋賀報知新聞
	30	戦争体験を聞く会	教育しが
12	1	今月のいち押し 戦争体験を聞く会 座談会 戦時中に描いた『学級日誌』	広報ひがしおうみ
	1	第15回企画展示 「少女たちが綴った『学級日誌』」	広報ひがしおうみ
	1	平和学習講座「滋賀の戦争遺跡が語るもの」 第1回『身近な戦争遺跡と人々のかわり』	広報ひがしおうみ
	2	いきいきした記述にも戦争の影 瀬田国民学校5年智組学級日誌	滋賀報知新聞
	6	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館ボランティアの紹介	滋賀報知新聞
12	7	平和学習講座 滋賀の戦争遺跡	滋賀報知新聞
	11	戦時の故国 掘り起こす 「銃後もまた、戦場だった」	朝日新聞
	14	少女らが描いた「戦争」 県平和祈念館 瀬田国民学校の日誌展示	朝日新聞
	20	黒い防空頭巾 カラフルに 大津の4女性 戦時中の絵日記回顧	中日新聞
	22	平和祈念館の休館	滋賀報知新聞

月	日	内 容	報道機関
平29 1	6	情報ひろば 滋賀県平和祈念館 企画展示が新しくなります	滋賀プラスワン
	13	戦争体験を聞く会	朝日新聞
	14	飛行場と八日市のまち 滋賀県平和祈念館で企画展	滋賀報知新聞
	20	八日市いまむかし -飛行場があった街-	産経新聞
2	1	平和学習講座「滋賀の戦争遺跡が語るもの」 第3回『本土決戦と滋賀の銃後』	広報ひがしおうみ
	1	戦争体験を聞く会「終戦間際のソ連侵攻 -満州最前線の記憶-	広報ひがしおうみ
	1	映画上映会 ドラマ「真珠湾からの帰還 軍神と捕虜第一号」	広報ひがしおうみ
	7	平和祈念館コラム 学校・一般団体への平和学習支援の取り組みについて	滋賀報知新聞
	16	戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	24	開館5周年事業 「開館から5年をむかえます」	滋賀報知新聞
	25	映画上映会	京都新聞
3	1	滋賀県平和祈念館「開館から5年をむかえます」	滋賀プラスワン
	1	開館5周年記念企画展示 「シベリア抑留-ユネスコ世界記憶遺産舞鶴引揚記念館収蔵品より-」	滋賀プラスワン
	1	開館5周年記念特別展示関連映画上映会「雲ながるる果てに」	京都新聞
	1	開館5周年プレ・イベント 映画「雲ながるる果てに」上映会	広報ひがしおうみ
	1	開館5周年事業 「開館から5年をむかえます」	広報ひがしおうみ
	3	映画上映会「雲ながるる果てに」	朝日新聞
	3	広い！ 八日市飛行場 東近江で企画展 全景写真を初発見	京都新聞
	7	平和祈念館コラム 開館5周年事業 「開館から5年をむかえます」	滋賀報知新聞
	11	「開館から5年をむかえます」	京都新聞
	12	県平和祈念館開館5周年記念活動報告会・戦争体験を聞く会	朝日新聞
	15	「ノー・マンズ・ランド」上映会	滋賀報知新聞
	27 補	県平和祈念館 開館5年 戦争記憶継承 市民の力で 遺族が「語り継ぎ部」候補	京都新聞



### 3 組織（平成29年3月現在）

#### (1) 職員

館長	端 信行
副館長	村井 洋一
専門員	伊庭 功
副主幹	名倉 康夫
主査	木村 直人
主査	佐藤 誠治
主任主事	前川 啓史
嘱託員	坂井 秀男
嘱託員	日高 昭子
臨時的任用職員	杉村 陽子

#### (2) 職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	嘱託・臨職	合計
人数	1	3	1	2	3	10

#### (3) 滋賀県平和祈念館運営会議

座長	端 信行（滋賀県平和祈念館長）
委員	中島 伸男（東近江市戦争遺跡の会 世話役）
	中井 均（滋賀県立大学 教授）
	岸田 孝一（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
	吉岡 登（愛東地区まちづくり協議会 事務局長 愛東コミュニティセンター 館長）
	増田 隆（NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 事務局長 あいとうエコプラザ菜の花館 館長）
	瀧澤 和久（東近江市企画部企画課 課長）
	畑 清（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
	中澤 光子（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

#### (4) 滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田 敬一（佛教大学 教授）
	原山 浩介（国立歴史民俗博物館 准教授）

#### 4 決算（平成28年度）

##### ○歳入状況

（単位：円）

科目	決算額
基金繰入金	33,086,231
諸収入	1,447,361
合計	34,533,592

##### ○歳出状況

（単位：円）

事業名	主な事業内容	決算額
管理運営費	施設維持管理費、施設運営費、事務費、広報費	24,145,048
展示事業	企画展示、特別企画展示、地域交流展示	2,528,217
資料収集保存事業	収蔵資料防虫防かび対策、研究図書購入、収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システムの運用	3,684,334
普及啓発事業	平和学習講座、戦争体験を聞く会、戦争遺跡見学FW、平和の学校あかり・ピーススクール	1,015,317
平和学習支援事業	平和学習支援教材作成	3,160,676
合計		34,533,592

## 5 施設概要

○所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

### ○建物概要

構造 鉄筋コンクリート 2階建  
敷地面積 2,864.00㎡  
延床面積 3,115.45㎡  
1階 1,759.03㎡  
2階 1,356.42㎡

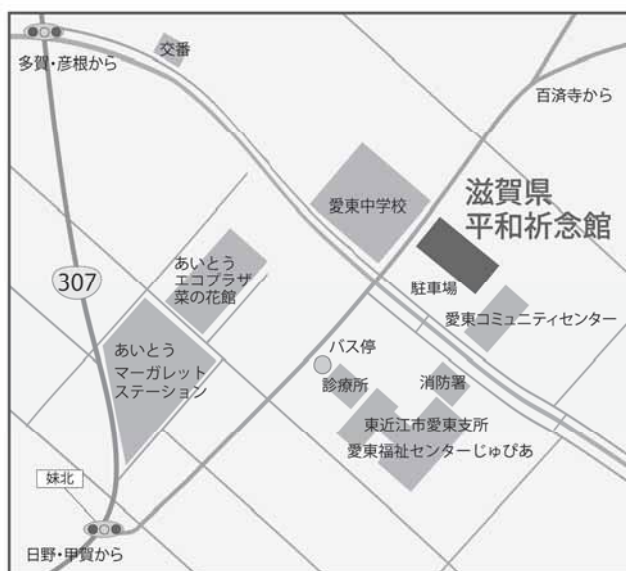
○開館年月日 平成24年3月17日

### ○平面図



## 6 利用案内

- 入館料 無料
- 開館時間 午前9時30分から午後5時
- 休館日 月曜日および火曜日（ただし祝日にあたる場合は開館）  
年末年始（12月28日～1月4日）  
※その他、業務の都合により休館する場合があります。
- 駐車場 約50台（無料）
- アクセス



- ・名神高速道路「八日市 I C」から車で約10分
- ・JR 琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

## 7 関係規程

滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

(設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

(業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

(開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

(特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。

(3) その他特別観覧を許可することが適当でない認められるとき。

3 知事は、第1項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付することができる。

(特別観覧の許可の取消し等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他の不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。

---

滋賀県平和祈念館 年報 第5号 (平成28年度)

発行日 平成29年(2017年)8月1日  
編集・発行 滋賀県平和祈念館  
〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地  
TEL 0749-46-0300 / FAX 0749-46-0350  
E-Mail [heiwa@pref.shiga.lg.jp](mailto:heiwa@pref.shiga.lg.jp)  
印刷 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

---

